

『学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証研究業務』  
サーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」を活用し実施予定！  
文部科学省様 実証研究業務 契約締結のお知らせについて

株式会社ONE WEDGE（所在地：東京新宿区、代表取締役：橋田博明）は、このたび文部科学省の公告内容である「学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証研究業務」を、サーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」を活用した技術提案を盛り込んだ内容にて入札を行い、契約締結いたしましたことのお知らせいたします。

『学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証研究業務』について

学校施設は子供の学習・生活の場であるだけでなく、災害時には地域住民の避難場所等としての役割も果たすことから、その安全性の確保は命題であると考えられております。

また近年の災害対応には、発災直後からのプッシュ型支援が求められるとともに、学校施設の安全確保、学校の早期再開等のため、被害情報の迅速かつ円滑な収集・把握が課題となっています。このような内容を解決するべく、学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証調査を実施する研究業務となります。

サーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」の活用について

学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証調査を実施する為、収集システムをサーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」を活用し、サーバーレス・コンピューティングで実現、物理サーバーを設置することなく、アプリケーションに必要なマシン・リソースの割り当てを動的に管理し、実開発期間は約か月というスピード提供を実現いたします。



サーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」について

従来のアプリ開発で必要とされていたサーバー構築やミドルウェアなどのハードウェア側の環境設定をAWS等で予め管理された状態で開発・リリースが実現可能で、今すぐにサービスをリリースしたい要望へ迅速に対応いたします。また、必要な分を必要な分だけ課金する従量課金制の料金設定となり、無駄なコストはできるだけ削減し、スモールスタートで事業を立ち上げたいニーズに応じます。



サーバーレス開発支援サービス「Serverless ONE」の強み

ONE WEDGEではサーバーレス開発のノウハウを生かし、従来には実現しえなかったスピード、コスト、柔軟性を備えたシステム開発サービスを提供します。

AWS等の様々なクラウドコンピューティングサービスを組み合わせ、サービスの機能を容易に拡張することで、いち早くビジネストレンドの動向をキャッチアップ可能とします。


■株式会社ONE WEDGEについて

母体となる事業を移管および新たな企業の継承を進めた上で、さまざまな企業のプロフェッショナル集団を集結2020年4月にONE

WEDGEへ商号変更を行い、新たにスタートしました。

従来から、技術難易度の高いシステムインテグレーションにて実績を積み重ねてきました現在はシステムインテグレーション事業をはじめ、システムコンサルティング、ITエンジニア派遣、ソリューションサービスと幅を拡げ急成長している。



会社名	株式会社ONE WEDGE
代表者	代表取締役 橋田 博明
所在地	東京都新宿区四谷1-18 オオノヤビル8F
事業内容	システムインテグレーション、システムコンサルティング ITエンジニア派遣サービス、ソリューションサービス
サービス内容	「Serverless ONE」サーバーレス開発支援サービス 「APPLI PO!」 「RENTAL CTO」 「街別デイリークラウドAlexaスキル」(無料) 「地震レーダーAlexaスキル」(無料) 「クラウドアシストサービス」 「システムエンジニアリングサービス推進組合事務局運営」
URL	ホームページ <a href="https://onewedge.co.jp">https://onewedge.co.jp</a>  Serverless ONE <a href="https://onewedge.co.jp/serverlessone">https://onewedge.co.jp/serverlessone</a>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ONE WEDGE PR担当

問い合わせ窓口 <https://onewedge.co.jp/contact>

TEL 03-5369-6622